

「公益社団法人日本介護福祉士会

創立 30 周年に寄せて」

公益社団法人日本認知症グループホーム協会 会長

河崎 茂子



公益社団法人日本介護福祉士会が創立 30 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

我が国における急速な高齢化に対応するため、1987 年に国家資格としての介護福祉士資格制度が創設され、1989 年には日本ではじめての介護福祉士が誕生しました。以来、介護福祉士の皆さまは、在宅サービス、施設サービスを問わず、多様なフィールドにおいて、常に、介護現場のリーダーとしてその力を発揮していらっしゃいました。

貴会が 1994 年の設立以来、介護福祉士の皆さまの職業倫理の向上ならびに専門的知識および技術の向上に多大な尽力をされ、介護福祉士の専門性の向上や社会的地位の向上に大きく貢献されてきたことに、深く敬意を表します。

折しも、2024 年 1 月 1 日より、認知症基本法が施行されました。今、認知症の人を含めた国民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合う、活力ある社会、いわゆる「共生社会」の実現が、強く求められます。認知症ケアの分野においても、介護福祉士の皆さまがその専門性を活かし、指導的立場でますますご活躍されることを期待しています。

貴協会の今後ますますのご発展を祈念しております。